

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S&Nロジスティクス	朝日梱包
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90%未達店所が1店所あり</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口荷主において提供可能なデータ内容と当社必須項目の条件が合わない為、SISとも協議するが現時点でEDI化が実現できていない</li> </ul>	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状まだマジックII導入を頂けないお客様の中で独自のシステムをご利用の為変更に至らない変更するにしてもシステム改修に費用が掛かってしまう</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『メガEXP便貸切便依頼システム』に於ける前日受注率のUP</li> <li>・メガEXP便・貸切便の輸送オーダーを頂く際、運用上で積載効率配車を進めていくうえには、出荷当日にオーダーを頂くのではなく、出荷前日までにオーダーをいただく事により、稼働車両の効率的な活用や空車移動距離の削減が図れる</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムカードやタイムシートで行っている勤怠管理をシステム化</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の勤怠の集計・入力に時間がかかる</li> <li>・管理部門での日毎の進捗管理がし辛い</li> <li>→【勤労の獅子】(勤怠管理システム)の導入により、システム上での打刻、勤怠管理が可能</li> </ul>	<p>【EDI化の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西濃運輸・ヤマト運輸出荷分については100%完了</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残りは日本郵政のみ</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他社受託入力による輸送情報交換を行う</li> <li>・同業 他社を拡大し、<b>当社及び同業他社における業務効率化を図る</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月頃から運賃改定でお客様にお願いしておりますその中で独自のシステム利用で改修に費用が掛かる場合、値上率を下げるかわりにマジックIIの導入をしてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日オーダーのお客様をピックアップ</li> <li>・当社の事情だけではなく、前日迄のオーダーについては100%手配は無論のこと、運行の高率化によって、現下の潮流であるドライバーの労働時間短縮や、環境問題への対応など、広義のメリットもご理解頂くようアピール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務日数・残業時間や、有給管理をシステムで一元管理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運送業者によって入力フォームが違う為、現状使用している印字フォーマットの変更が必要他運送業者のシステムに対応できる仕組みを作っていく</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化率 91.85%</li> <li>・他社受託でバーコード費用の削減、貼り付け作業時間削減及び路線乗務員の事務作業待ち時間削減による路線出発時間の短縮が図れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化率</li> <li>2022年度11月 94.23%</li> <li>2023年度11月 94.87%</li> <li>11月にシステムを改修しマジック導入荷主1件有り。導入荷主集荷時間30分短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月度の前日までの受注率53.1%</li> <li>第1Q実績47.8%に対し+5.3%向上(KPI=75%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社管理部門でも日毎の状況が把握できるため、残業や勤務日数の管理がショートインターバルでコントロールできるようになる</li> <li>・給与計算に必要な勤務日数・時間・有給等の集計を簡素化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様への速やかな情報提供が可能</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業他社とのEDI化においては他社受託入力は業務効率化の効果が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷の多いお客様のみ該当</li> <li>・マジックIIを導入することにより集荷時の手間が減り時間短縮となり労働時間を減らすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日までにオーダーをいただく事によって、確実性だけでなく、よりお客様のニーズに寄り添ったきめ細かな対応も可能であることもアピール</li> <li>(自社車両使用のご希望、集荷・配達時間の対応、商品特性に合致した積み付け、他商品との積み合せ等のお客様のニーズ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打刻や紙への記入から、システムへの打刻・入力となったことから事務作業の負荷を軽減</li> <li>・時間・日数・有給管理が同じシステムで簡単に確認できることで、コンプライアンスの観点でも対応しやすくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様のペーパーレス化に貢献、発送した商品が全て完了して完結となる為、出荷状況をリアルタイムで提供する事で、お客様に安心感を与えられ、今後の依頼増加にも繋がっていく</li> </ul>